

ほほえみ



山直南

ピンクシャツデー

2月22日(火)

令和4年2月18日(金)

岸和田市立山直南小学校 人権担当

2月23日(水)はピンクシャツデーです。これは、カナダ発祥のいじめ反対運動で、人々がいじめに反対する姿勢を象徴するために、ピンクのものを身に着ける日です。23日がお休みなので、山直南小学校では、22日をピンクシャツデーとします。



【ピンクシャツデーのはじまり】

2007年にカナダの学校で、ある男子生徒がピンクのシャツを着ていたためにホモセクシャルだとからかわれ、暴行を受け、たえきれずに帰宅してしまいました。その出来事を聞いた上級生がほかの生徒に呼びかけ、みんなでピンクのものを身に着けて登校したことで、いじめが自然とおさまったということがピンクシャツデーの始まりです。加害者に直接立ち向かうのは怖くても、ピンクシャツを着ることによっていじめ反対の意思表示をして、状況を変えるやり方もあるという事例です。今では世界に広がっています。

みんなで、いじめは絶対に許さないという意識を持ち続けることが大切です。ピンクシャツデーの目的とつなげるために、各教室でも気持ちよく過ごせるにはどうしたらいいか考える時間を持ちたいと思います。日本では2月の最終水曜日をピンクシャツデーとしていますが、本来は毎日がピンクシャツデーであると思います。いじめに対して見て見ぬふりをせず、自分がどう動くかを考えるきっかけとしてほしいです。また、学校や保護者も一緒になって、子どもたちの変化を見逃さないようにしていきたいと思っています。ご協力よろしくお願ひいたします。

現在、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、新型コロナに対する差別や偏見、うわさなども、安心して暮らすことに影響を及ぼします。ピンクシャツデーの機会に、このことについても今一度振り返り、考えていきたいです。

